

# The Performance Improvement of Agricultural Leading Firms Program in China: Insights from the Productivity and Ownership Perspectives

林, 巖

<https://hdl.handle.net/2324/4784700>

---

出版情報 : Kyushu University, 2021, 博士 (農学), 課程博士

バージョン :

権利関係 : Public access to the fulltext file is restricted for unavoidable reason (3)

氏名	リン ガン Lin Gan
論文名	The Performance Improvement of Agricultural Leading Firms Program in China: Insights from the Productivity and Ownership Perspectives(中国における農業先進企業プログラムの業績改善－生産性と所有権の視点からの考察－)
論文調査委員	主査 九州大学 教授 矢部 光保 副査 九州大学 教授 南石 晃明 副査 九州大学 教授 前田 幸嗣 副査 九州大学 准教授 高橋 義文

## 論文審査の結果の要旨

農業先進企業プログラムとは、中国における長期的産業政策の一つであり、代表的企業の全要素生産性（TFP）を上ることを目的に、2000年より導入されてきた。本研究の目的は、この農業先進企業プログラムに注目し、1998年から2013年までの中国企業データベース（CIED）を用いて、中国における代表的な農業食品加工企業を対象に、農業先進企業プログラムにおける技術革新への誘因、所有の影響、TFPへの効果について明らかにするものである。方法論としては、第一に Levinsohn & Petrin（2003）に従い、企業レベルのTFPを計算した。また、省による資本所有の有無がもたらすTFPへの影響を分析した。さらに、農業先進企業プログラムによるR&Dや過剰投資への影響も分析した。

本研究の重要な発見としては、第一に、省の資本所有がTFPに与える影響として、上位から10%および25%のところに位置する農業食品加工企業においては、省による資本所有の割合が1%増加すれば、それぞれ企業のTFPは5.1%および7.2%減少した。しかし、省による資本所有は、中位または高い生産性の持つ企業のTFPには影響を与えなかった。

第二に、農業先進企業プログラムは、省が資本を所有していない企業のTFPを増加させるが、省が資本を所有している企業のTFPは増加させなかった。ただし、農業先進企業プログラムは、両方の企業のR&D支出を増加させた。

第三に、R&D支出と過剰投資がTFPに与える影響については、まず、R&Dの支出は全てのタイプのTFPを向上させ、特に省が資本を所有している企業においてはその影響は大きかった。次に、過剰投資の場合は、投資後の1年目と2年目に大きな投資を行った場合にはTFPを増加させるが、3年目以降の大きな投資ではTFPは減少し、その負の影響は年々増大した。

以上から、本研究による政策的含意として、農業先進企業プログラムは、技術革新に向け、特に省が資本を所有している農業食品加工企業に対して、革新への誘因メカニズムを創り出すべきであること、また、政府は、農業先進企業プログラムにおいて、省が資本を所有していない企業の割合を適度に増加させることが望ましいと言える。

このような分析結果より、本研究は、中国における農業先進企業プログラムにおける技術革新への誘因、所有の影響、TFPへの効果について明らかにするものであり、今後の中国における農業食品加工企業の展開に向け、重要な貢献が期待できる学術的価値の高い研究と言える。よって、本研究は博士（農学）の学位に値すると認める。